

第12回 東区緩和医療を考える会 報告

日時：平成29年1月18日（水）18：30～20：00

場所：九州大学病院 講義棟4階 臨床大講堂

参加者：114名（看護師40名、医師20名、薬剤師17名、MSW11名、理学療法士7名、介護支援専門員4名、管理栄養士3名、作業療法士2名、歯科医師1名、臨床心理士1名、保健師1名、事務職員1名、その他1名、不明5名）

演題1. 「内服抗がん剤の副作用とセルフケアについて」

九州大学病院 がん薬物療法認定薬剤師 榎原 洋子 先生

・内服抗がん剤の主な副作用（骨髄抑制、発熱性好中球減少症、悪心・嘔吐、皮膚障害等）について、発現時期、日常生活の工夫、予防的スキンケアを含め、お話いただきました。

演題2. 「東区南部地域包括ケアネットワークの取り組み ～在宅療養後方支援病院およびブロック支援病院を中心に～」

原土井病院 地域連携センター長兼緩和統括部長 山下 和海 先生

・福岡市東区南部地域における地域包括ケアネットワークについて、ブロック支援病院、在宅診療後方支援病院、代理診療ネットワークを含め、お話いただきました。

演題3. 「住宅型有料老人ホームでの看取りについて」

SJR千早 介護支援専門員 松本 誠 先生、生活サポート部長 中司 典子 先生

・住宅型有料老人ホームでの看取りの事例を紹介していただきました。また、看取り介護への取り組みについて、①事業所全体での方針、②看取り看護指針の明文化、③看取り期の判断、④利用者家族への説明と同意、⑤看取り介護の実施、⑥施設内教育、⑦振り返り・看取り介護に対する報告会（多職種合同デスクンファレンス）等をご紹介いただきました。

次回は、平成29年7月ごろ、原土井病院で開催される予定です。

記 九州大学病院 清水祐紀子